

(様式3-2) 調査研究活動記録票(先進地視察又は現地調査に要する経費)

嬉野市議会議員

宮崎良平

実施月日	令和5年7月4日(火)			
実施時間	13:00~14:35			
調査先	木更津市・陸上自衛隊木更津駐屯地			
調査所在	木更津市・陸上自衛隊木更津駐屯地			
調査の目的	V-22(オスプレイ)地上研修および航空機研修(CH47等)			
調査先担当者	第一ヘリコプター団長 陸将補 廣瀬敏彦 氏 他担当官			
内容・結果等	<p><b>目的</b> 陸上自衛隊輸送機オスプレイ配備計画においては、ようやく佐賀空港にて配備されることで決着がついた。そのような中、嬉野市においても大野原演習場の一角を持ち、大村駐屯地、又は水陸起動団を保有する相浦駐屯地もあり、国防において重要な箇所である。市として今後の飛行ルート及び配備計画において把握し見識を広げるため。</p> <p><b>内容</b> 木更津駐屯地敷地 面積210万平方メートル 隊員約1000名超え</p> <p>第1ヘリコプター団の拠点 陸上総隊隷下の航空科部隊 約70機所在</p> <p>配備状況 ・V22(オスプレイ) 乗員3名(パイロット等)+24名 巡航速度約465km</p> <p>航続距離 2,600km 垂直離着陸機能と速さや長い航続距離を持ち合わせた航空機。</p> <p>これまで使用されてきた軍用ヘリコプターとの大きな違いは、ヘリコプターと飛行機の特徴を併せ持った航空機であり、運用に場所を選ばないのが特徴である。</p> <p>その他の機種 ・CH-47J ・CH47JA ・EC-225LP ・LR-2 ・UH-60JA ・AH-1S ・OH-1</p> <p><b>感想</b> V22(オスプレイ)をはじめ、様々な用途において使用される機体の特徴や説明を受けた。災害救援や離島の急患輸送、また水陸機動団の島嶼輸送においては、重要な役割を果たすべく期待できるものである。まだ佐賀空港へ配備されてからの訓練計画等示されてなく、今後とも注視していくべきだと感じた。</p>			
	上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額(円)
		旅費・宿泊費	祐徳旅行株式会社(宿泊パック)	60,930
		旅費(東京⇒木更津駅)	高速バス、JR他	} 6,110
		木更津駅⇒品川⇒新橋	〃	
		新橋⇒防衛省⇒羽田空港)	JR他	
	合計		67,040	

(様式3-2) 調査研究活動記録票(先進地視察又は現地調査に要する経費)

嬉野市議会議員

宮崎良平

実施月日	令和5年7月5日(水)			
実施時間	10:00~11:00			
調査先	防衛省・防衛装備庁会議室			
調査所在	東京都新宿区市谷本村町5-1			
調査の目的	嬉野市議会防衛議員連盟と防衛省との意見交換			
調査先担当者	防衛省 防衛計画課長 伊藤伸哉 氏 運用調整参事官 菊池哲史 氏 施設計画課他			
内容・結果等	<b>内容</b>			
	<b>1・厳しさを増す我が国の防衛体制の現況について</b>			
	安全保障上の課題や不安定要因がより顕在化先鋭化し厳しさを増している。国家安全保障戦略には外交、防衛に加え、経済安保、技術、サイバー、情報等の政策の戦略的指針を提示。			
	<b>2・オスプレイが佐賀空港に配備される目的や重要性について</b>			
	南西諸島の現況、島嶼防衛という観点で見ると、水陸起動団を有する相浦駐屯地のまた九州北部の役割は大きい。防衛上の有用性や様々な観点から最適の飛行場と判断した。			
	<b>3・佐賀空港に配備された後の大野原演習場の利用の有無について</b>			
	<b>4・利用された場合のオスプレイ飛行ルートについて</b>			
	<b>5・利用された場合の大野原演習場の再整備について</b>			
	3・4・5まとめて			
	大野原演習場を利用、飛行ルート、再整備等においては整備後の計画の詳細が決定してない。よって回答のしようがない。大野原演習場利用の際は改めて相談させていただく。			
	<b>感想</b> 課の枠を超え質問に対して丁寧に詳細にお答えいただいたことに、ある意味今の安全保障における危機感の表れかと感じた。そして佐賀空港配備計画の必要性を感じた。日本の安全保障のため佐賀県は覚悟を決めた。その重みも十分理解されたうえで安心安全に円滑に進めていただきたい。			
	上記活動に要した経費	経 費 の 内 容	支 払 の 先	金 額 ( 円 )
合 計				